

保護者の皆様

横浜市こども青少年局
保育・教育運営課長
保育・教育支援課人材育成・向上支援担当課長

感染症流行期に向けた対応について（依頼）

日頃から本市保育・教育行政に御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

秋から冬にかけては、例年、風邪、インフルエンザ等、発熱や咳などの呼吸器症状がみられる感染症やノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しやすい時期となります。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者数は、上昇傾向に転じる兆しが見えてきています。そのため、各ご家庭においては、ワクチン接種の検討や新型コロナ検査キット（医薬品）の常備をお願いいたします。

保育所等は、乳幼児が集団生活を送る場所であるため、感染症が発生した場合には感染が拡大しやすいという特徴があります。感染拡大を防止し、子どもたちを感染症から守るためには、保護者の皆様の御協力がかかせません。

登園前日に発熱(※)があった場合や、お子様の体調にいつもと異なる様子が見られる場合などには、登園を控えてください。また、かかりつけの医療機関を受診し、医師の判断により、集団生活に支障がないことを確認していただくようお願いいたします。

※発熱の基準については、平熱には個人差があるため、日頃からお子様の平熱について把握し、園と共有していただくようお願いいたします。

引き続き、手洗い・消毒やうがいなどの基本的な感染症対策を継続していただきますようお願いいたします。

1 添付資料

【資料1】新型コロナ とインフルエンザ の同時流行に備えて～新型コロナ検査キットを常備 しましょう～

【資料2】お子さんがコロナに感染・濃厚接触者になった時の対応ポイント

【資料3】横浜市の関連サイト・相談先

【本通知内容に関する問合せ先】

こども青少年局保育・教育運営課
電話：045-671-3564
Email: kd-unei@city.yokohama.jp

【感染症に関する問合せ先】

こども青少年局保育・教育支援課人材育成係
電話：045-671-2397
Email: kd-jinzai@city.yokohama.jp

新型コロナとインフルエンザの 同時流行に備えて

新型コロナ検査キットを常備しましょう

使用できる抗原検査キットは
外箱に「体外診断用医薬品」、「第1類医薬品」と書かれたものです

【注意】「研究用」では陽性者登録窓口に登録できません。

その他、常備しておくといもの

市販の解熱鎮痛薬

常用している薬
日持ちする食料(5~7日分)
体温計

など



感染を防ぐための3つのポイント

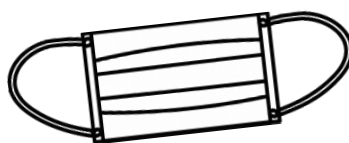
ポイント①

こまめな手洗い



ポイント②

必要な場面での
マスク着用



ポイント③

早めの予防接種



その他、新型コロナウイルス感染症に関する情報は、

特設サイト

横浜市 新型コロナ



横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター(24時間)

TEL 0120-547-059 / FAX 045-846-0500

抗原検査キットについて

購入するときは、外箱の表示を確認してください。

医療用医薬品について

外箱に「**体外診断用医薬品**」の表示があります。

購入できる薬局はこちら



一般用医薬品について

外箱に「**第1類医薬品**」の表示があります。

インターネット等で購入可能です。
製品情報などについてはこちら



熱があるとき、どうしたらいいの？

次のいずれかに当てはまるものがありますか？

- (1) 65歳以上
- (2) 妊婦
- (3) 小学生以下のお子さま
- (4) 基礎疾患等の重症化リスク(*)がある方

※重症化リスクについては特設サイトをご覧ください

熱がある…
コロナかも…



ない ↓

検査キットで自己検査

陰性だったら

自宅等で療養

受診を希望される場合には、
電話診療・オンライン診療の
活用や、かかりつけ医の受診
もご検討ください。

常備があれば
すぐできる！

ある ↓

医療機関を受診

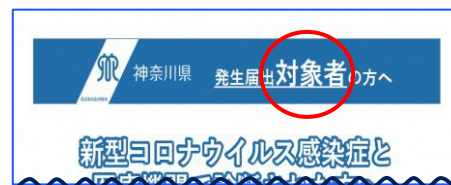
事前に
連絡！

医療機関検索



陽性だったら

医療機関でどちらのチラシをもらいましたか？



神奈川県・横浜市から
連絡があります

「陽性者登録窓口」に登録をお願いします

登録は
こちら



・症状が悪化した場合の相談先(「コロナ119」)の
電話番号をお知らせします。



保護者向け

お子さんが コロナに感染・濃厚接触者にな った時の対応ポイント



新型コロナウイルス感染症の主な症状



■ 発熱



■ のどの痛み



■ せき



■ 吐き気、嘔吐



■ けいれん

症状ごとの自宅での対応

発熱

市販の解熱鎮痛薬を活用しましょう

(アセトアミノフェン：小児用バファリン)

- 薬の飲む量は、添付の説明書をよく読み容量を守って飲みましょう。服用間隔は4時間以上空けましょう。
- 薬を飲んでも平熱まで下がりません。熱が下がっても、また上がることもあります。熱が少しでも下がれば、多少は楽になります。

本人が暑がったり汗をかいている場合

- 体温を下げるために、衣服を薄着にしたり、首元や脇の下を冷湿布等を当てて冷やしましょう。エアコンの温度設定を下げる等の調整もしましょう。
- 熱が少しでも下がり、楽になったタイミングで、水分を取るようにしましょう。



吐き気・嘔吐

- 吐き気があるときは、一度に飲む量を少しにして、一口ずつ（吐かないことを確認しながら）、こまめに飲ませましょう。
- 嘔吐があった場合、経口補水液の摂取も効果的です。



脱水

- 塩分や糖分の入った経口補水液、薄めたリンゴジュース等を取るようにしましょう。

子どもの自宅療養のポイント

小さいお子さんが感染した場合、
家族内感染を完全に防ぐことは困難です。



全員が発症する事態を防ぐためにも、
次のことが大切です。



- 陽性になった子どもの世話をする人を限定しましょう
- 過ごす場所を分けましょう。
- 共有場所は同時に使用しないようにしましょう。
- 2方向の窓を開けるなど、定期的な換気を行いましょう。

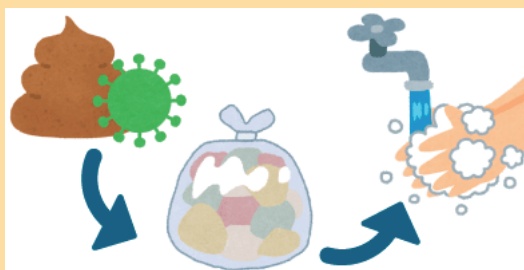
子どもの自宅療養のポイント トイレ・おむつ

ウイルスは便に含まれることがあります。(便からの感染例は報告されていません)



ポイント

- ★ おむつを捨てる時は、毎回ビニール袋に入れ、袋の口を縛って捨てましょう。
- ★ おむつの処理後やトイレに行った後は手洗い、アルコール消毒等、手指衛生に努めましょう。



このほか、自宅での過ごし方については、新型コロナウイルス感染症対策ポータル(神奈川県ホームページ)

「自宅療養される方へ～療養生活に関するご案内～」に、情報を掲載しています。



自宅療養される方へ
～療養生活に関する
ご案内～

すぐにコロナ119へ相談や救急受診が必要な症状

⚠ 要注意!

- 生後3か月未満児で38℃以上の発熱がある
- 短時間に複数回のけいれん、5分以上続くけいれん



- 呼吸がいつもより早い、苦しい
- お腹や胸のあたりの痛みの訴え
- 顔色が悪く、ぐったりしている
- 水分が取れず、半日以上尿が出ない

「呼吸が苦しい」とは・・・

- 肩で息をする
- 鎖骨の上や肋骨の下がくぼんだ呼吸
- 顔色が青白い
- 呼吸の回数が多い



コロナと診断されていないお子さん（濃厚接触者等）で上記の症状があった場合は、救急受診や#8000（4ページ）に相談しましょう。

コロナ119への相談・医療機関受診について

救急車を呼ぶ必要がない場合

- 熱の症状があっても、ごはんや水分が取ることができたり、睡眠がとれ、遊ぶことができていれば、慌てて救急車を呼ぶ必要はありません。



コロナ感染前に相談が必要な場合

- 心臓や呼吸器などに基礎疾患があり大学病院や小児病院のかかりつけの患者様は、事前に担当医とコロナ陽性になった際の注意点を相談しておきましょう。



お子さんもコロナワクチンを接種できます

- ワクチン接種により「感染してもコロナの症状が出にくい」「重症化予防」の効果があります。
- 接種後の副反応の発生率は、大人用と同等もしくはより軽い傾向が確認されています。
- 接種についてはお住まいの市町村ホームページ、もしくはかかりつけ医にご相談ください。





コロナの陽性者の相談窓口

- 症状が悪化した時やその判断に困ったら
神奈川県コロナ119番（注意）（体調の悪化・急変等による緊急相談窓口）
へ迷わず電話してください。
- 療養中の健康相談、過ごし方等についてのご質問・ご相談は、
神奈川県療養サポート窓口（注意）へお電話ください。

注意 発生届の対象者の場合、届出に記載のある携帯番号にご案内が届きます。
発生届の対象外の場合、陽性者登録窓口に登録後にご案内します。



陽性者登録窓口に
ついて



コロナと診断されていない方の 体調の相談窓口

① かながわ小児救急ダイヤル

電話番号：#8000（18時から翌8時）

※ダイヤル回線、IP電話、PHS等または市外局番が“042”のプッシュ回線をご利用の場合

電話番号：045-663-9181

夜間等における、お子さんの体調の急変等に関し、看護師等が電話で相談に応じます。

なお、この電話相談は助言を行うものであり、電話による診断・治療を行うものではありません。

※新型コロナウイルスに関する相談は、神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤルをご利用ください。



かながわ小児救急
ダイヤル

② こどもの救急（ウェブサイト）

<http://kodomo-qq.jp/>（検索ワード「こどもの救急」）

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。

対象：生後1か月から6歳



こどもの救急

③ 神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

電話番号：0570-056-774（24時間対応）

注意 一部IP電話等上記につながらない方：045-285-0536

発熱や咳などの症状のある方、感染の不安のある方に関すること

などの相談や、発熱がある方への医療機関のご案内もしています。

神奈川県のホームページでも医療機関を公開しています。



新型コロナウイルス
感染症専用ダイヤル



県内で発熱診療を実施
している医療機関一覧

参考 兵庫県立こども病院感染対策部感染症内科「お子さんがコロナに罹ったらどうする？自宅療養のポイントver.1.1」

横浜市の相談先・関連サイト

※PDFの場合はQRコードをクリックするとリンク先にジャンプします(閲覧環境によってはジャンプしない場合があります)

● ワクチン接種について

乳幼児接種(生後6か月～4歳)



おとなの接種



新型コロナワクチン接種に関する問合せ

TEL **0120-045-070** FAX 050-3588-7191 毎日9時～19時

※年末年始(12月19日～1月3日)を除く ※小児・乳幼児接種に関する問合せは18時まで

● 新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて～検査キットの常備～



● 発熱などがある方へ ～医療機関・検査のご案内～



● 陽性と判明したら



● 濃厚接触者について ～待機期間の考え方など～



● 新型コロナウイルス感染症 (特設ページ)



新型コロナウイルス感染症に関する問合せ

新型コロナウイルス感染症 コールセンター

24時間受付

TEL **0120-547-059** FAX 045-846-0500